



Release Notes—Version 4.0

このリリースは、Ki Pro Rackファームウェアの初回出荷版です。特徴と設定についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照して下さい。
(これらのドキュメントは、製品に同梱されるCDに収められています)

特 徴

- ・ ファイルベースワークフローへのスムーズな移行を実現
- ・ 10bit フルラスター収録
- ・ 放送品質のアップ/ダウン/クロスコンバーター内蔵
- ・ HD/SD-SDI, HDMI, HD/SD アナログビデオ I/O
- ・ マルチチャンネルAES, アナログバランスXLR, エンベデッドオーディオI/O
- ・ 分かりやすいボタンパネルレイアウト
- ・ デュアルメディアベイ
- ・ Apple ProRes, Avid DNxHDコーデックサポート
- ・ RS-422コントロール
- ・ 分かりやすい設定と操作性
- ・ 業務レベルに対応する入出力
- ・ デュアル メディア ドライブ対応
- ・ 高速化されたEthernetファイル転送機能
- ・ Ethernet接続によるリモート設定とコントロール

Ki Pro Rackが作成するAvid DNxHD QuickTimeを使用する上での重要事項

- ・ Ki Pro Rackが作成するAvid DNxHD QuickTimeファイルは、Avid Media Composerを使用するために設計されています。これらのQuickTimeファイルは、他のノンリニア編集システムでも (適切なAvid QuickTimeコーデックパッケージがインストールされている場合) 読み込む事が可能ですが、AJAはこれら他のノンリニア編集システムにおけるDNxHD QuickTimeファイルの動作や性能の検証は行っていません。
- ・ ノンリニア編集システム間など広範にわたり使用する場合は、Ki Pro製品によって作成されるApple ProRes422 QuickTimeファイルを使用することをお勧めします。
- ・ Ki Pro Rackによって作成されたAvid DNxHDファイルをAvid Media Composerで使用する場合は、Avid Media Composer上で提供される”AMAファイルへのリンク”機能の使用をお勧めします。
- ・ Avidがインストールされていないシステム上で使用するためにはAvidコーデックパッケージを入手、インストールして下さい。 http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/Download/en423319



既知の問題

- ・ このリリースにおいて、SDI 2入力は、RP188 SDI エンベデッド タイムコードをサポートしていません。また、SDI 2出力は、メディア再生中のRP-188 SDI エンベデッド タイムコード出力をサポートしません。なお、SDI 2入力の問題はこのリリースでのみ影響します。

使用上の注意点

- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Proとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・ Ki Proで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用できます。
- ・ Ki Proで収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前にはKi Proが停止状態にあることを確認してください。